

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	ラオスは、近年 7%前後の経済成長を達成している。しかし、その恩恵を受けているのは主に都市部の住民に限られており、地方では未だ貧困に苦しむ住民が多く存在する。またラオスは約 49 の民族からなると言われており、彼らも同様である。2016-2017 年のラオス教育スポーツ省の調査では小学校（5 年制）と中学校（4 年制）の卒業率はラオス国の平均で、それぞれ 79.2%と 71.2%であり、教育や職業訓練を受ける機会が少なければ、職を得ることが難しい。本事業では地方に住む貧困家庭の女性および青年に加えて、遠隔地に住む少数民族も対象とした職業訓練を実施し、就業による生計向上を目指す。初級コースではホスピタリティ技術を習得させ、家事やホテルサービスの技術を、中級コースでは更に高齢者介護の知識・技術を学び、ラオスにて高齢者がいる富裕層家庭、観光施設、病院、スパなどの分野での就業を目指す。
(2) 事業の必要性（背景）	(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ ラオスの地方の産業は農業であり、人びとは自給自足の生活を営み、商品作物の栽培と森林から得られる天然の産物の販売によってわずかな現金収入を得ている。地方住民（特に親）の教育や就職・就業への意識は低く、若者は小学校程度を卒業すると、家族と農業をしながら暮らすのが一般的であり、これが地方住民の生計向上を妨げる一因となっている。 ラオスには美しい自然やルアンプラバーンなどの世界遺産があり、世界から観光地として人気が高く観光産業は成長の見込みがある。2019 年 7 月にはシェンクワン県も世界遺産に登録され、ホテル増加にともなう、求人増加が見込まれる。 このような人材供給が必要であるために、ラオス政府は、ホスピタリティ人材育成のためにルクセンブルク政府の支援を受け、2013 年に Lao National Institute Tourism and Hospitality(Lanith)を開校し、毎年 60 名以上の卒業生を輩出している。ところが、当会と協力関係にあるラオスホテル・レストラン協会と市内のホテルとの聞き取り調査からは、同校は高卒者のみを対象とし、現場スタッフ養成ではなく、マネジメント人材養成の理論教育重視のカリキュラムであり、各ホテルが必要とする現場で使える技術レベルには達していないことを指摘され、ハウスキーピング、食事サービング、調理など、現場で使える技術を持つ人材の必要性を求められた。 (イ) 申請事業の内容(事業地、事業内容)となった理由 <u>事業内容選定の理由</u> 当会は現場で使える技術を学ぶために、実技中心のカリキュラムが組まれた調理・縫製・理美容・木工家具分野の職業訓練コースを 30 年間にわたり運営し、今まで多くの卒業生を輩出してきた。今回の事業においてもそのノウハウを活かし、ホテルでのハウスキーピング・富裕層や外国人家庭での家事代行などで即戦力になりうる人材を育てることを目指している。 また、本プロジェクトの特徴はホテルだけでなく介護の技術をも提供していることにあるのだが、これには以下のような理由がある。ラオス政府観光庁の発表の資料（2018 年）によると、海外からの 60 歳

以上の旅行者が年々、増加しており 2013 年には全年齢層の旅行者合計のわずか 7.4%だったものが、2017 年には 19%にも増えた。これは 20～29 歳の 29.5%、30～39 歳の 23.5%につぐものである。現在は新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環で中断しているが、ラオスは、ロングステイなどの定年退職者や高齢者の長期滞在先の一つとして注目を浴び、日本や中国などから施設建設の計画がある。そのために、今後は基礎介護技術を持つホテルパーソン・家事代行者の求人が介護施設や長期滞在型マンション・ホテルなどで求められる見込みである。また高齢化が進む隣国タイ（2017 年 60 歳以上人口 17%以）では、介護人材だけでなく、成長する医療ツーリズム産業においてラオス語に近いタイ語を理解できるラオス人のホテル介護人材の需要が増加するものと思われる。

事業地選択の理由

当事業のカウンターパートは、ビエンチャン特別市教育スポーツ局 (Vientiane Capital Education and Sports Department, 以下 VED) 及びビエンチャン特別市ナーサイトン郡教育スポーツ課 (Naxaythong District Education and Sports Office, 以下 NXT) である。NXT は先行事業「女性・青少年の収入向上のための職業訓練プロジェクト」(日本 NGO 携無償資金協力、2010、2011、2013 年度)のカウンターパートであり、NXT センターの建設と職業訓練事業実施により十分な成果を達成し事業終了後も現在まで途切れることなく訓練コースが実施されている。本事業は新規でトレーナー養成が必要であるが、VED は先行事業において養成した調理、縫製、理美容のトレーナーに加え、事業終了後にも NXT がトレーナーを養成しつづけている実績がある。また、本事業は地方の女性、青年に短期ノンフォーマル教育職業訓練を実施することで経済的自立を目標としているが、NXT の上位組織である VED も当会と事業 (JICA 草の根事業、調理・縫製・理美容 2007－2010 年・2011－2016 年)を実施し、NXT と同様に現在もノンフォーマル教育職業訓練コースを継続している。したがって VED および NXT は本事業のカウンターパートとして最適である。

首都ビエンチャン特別市を選んだのは、インターンを行うホテルや病院も多く、大使公邸、国立リハビリテーションセンターもあり、訓練生の受け入れ先、就職先を探しやすいためである。また地方出身の訓練生にとって、都会での生活に慣れる意味でも、ビエンチャン特別市で訓練を行うメリットがある。

(ウ) これまでの事業 (1、2 年次の事業)・成果

<1 年次> 2019 年 3 月～2020 年 2 月

以下のような施設を持つ 2 階建ての職業訓練センターが NXT センターの敷地内に 11 月 1 日に完成した。1 階;実習室 (テーブルサービス、洗濯・アイロン・裁縫、介護、調理など) 2 階;宿泊実習用客室 (シングル 2 部屋、ダブル 1 部屋。ハウスキーピング、車いす利用者介護、ルームサービスなどの実習)。11 月 7 日には資機材の搬入を終えた。

	制作した訓練スケジュール表・指導書ドラフト1をもとに現在、2名のトレーナー候補生を養成中した。ルアンプラバーン、シェンクワン、チャンパーサック、アタプー、ビエンチャン特別市および県から生徒総数20名を募集するために各県郡の教育スポーツ課への事業説明を11月末日に行った。これらの中からアタプー県を除く5の都・県から18名の応募があった。 <2年次> 2020年3月～2021年2月 3月に上記18名がNXTに来たが、すぐに新型コロナウイルスに伴う各種学校の閉鎖令により帰郷、自宅待機となった。当法人日本人スタッフもJICAや他団体などの動きに合わせて日本に退避した。ラオスの新学期である9月になると学校の閉鎖令が解かれ、9月7日から再集結した16名によって計画より半年遅れでホスピタリティ・介護研修がスタートした。当初予定していたタイ人教官や日本人短期専門家は出入国管理規制により手当できず、ビエンチャン市内にあるラオプラザホテルのベテラン従業員を軸にそのホテルの出入りのクリーニング業者、タイから一時帰国している介護士資格保持者などで講師陣を再構成した。また、再開に当たってカウンターパート機関であるNXT教育・スポーツ課から新型コロナウイルスの感染防止対策を具体的に示すように求められ、 (1) 密を避けるために研修生を当初予定20名定員より15名定員とする (2) 各人へマスクの配布、毎朝の検温の実施 (3) 空き部屋を寮とは別の場所に確保し、発熱や咳の症状が出た者の一時隔離室とする (4) 新型コロナウイルスを含めた感染症の予防講座・実習を研修内で行う の改善点を提示して受け入れられた。 現在、ホスピタリティ研修を修了し、12月7日から介護（ケア）の研修を行う予定である。 ●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性 【目標1】 <u>ターゲット1.1</u> 内陸国ラオスは、アジアで最も貧しい国の一つであり、一人当りの名目GDPは1,400ドル程度とASEAN諸国の中でも最下位クラスである。1.25ドル以下で生活する人々の割合は30.3%であり(2012年、国連MDG Indicator)、その多くが地方県の住民である。当事業では、特に収入が低い地方県の女性・青年を対象に職業訓練を実施し、就業・就職促進を目指すため、<u>ターゲット1.1</u>に沿っている。 【目標4】 <u>ターゲット4.3及び4.5</u> 海外の機関等が主にフォーマル職業教育(高卒者を対象とした職業教育で、日本の高等専門学校や短大にあたる)事業を支援しているが、当会はラオスにおいて20年以上のノンフォーマル職業訓練(学校へ通えなかった者を対象とする教育識字教育、初・中等教育コースから派生した職業訓練で、入学において小中高校卒資格を求めない)の実績を持つ。これまで当会が実施した職業訓練事業は、全てラオス政府にハンドオー
--	---

(5) 活動内容

【3 年次】

3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施

3-1 訓練生募集(第3、4期生)

第2期中級コース開講後(2021年3月)、3年次後半に実施する第3期訓練の募集を行う。募集の方法は第1期初級と同様。

SNS告知板や県(郡)の教育スポーツ局や郡教育スポーツ課を通して応募者を募る。

第3・4期生の各県の募集人数

	ルアン ブラバーン県	シェン クワーン県	チャン バサック県	ビエンチャン 特別市	ビエンチャン 県	計
第3期生	3	3	3	3	3	15名
第4期生	3	3	3	3	3	15名

3-2 初級・中級コース訓練実施(第2期・第3期)

3年次は第2期及び第3期の初級・中級コースを実施する。
(初級コースを修了した訓練生が、中級コースへ進級する) なお、訓練生は寮に滞在して訓練を受け、その寮費を一部補助する。

実施時期	2021/3-5	2021/6-8	2021/9-11	2021/12- 2022/2
実施期間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間
期	第2期		第3期	
コース	初級コース	中級コース	初級コース	中級コース
訓練参加者数	15名	15名	15名	15名
訓練修了者数	15名	15名	15名	15名

訓練の大まかな内容は以下の通り。

初級コース(ホスピタリティ分野、3か月)

ホテル従業員や家事代行者として必要な知識、技術である①ホスピタリティ概論、②客室管理(ハウスキーピング)、③レストランサービス、④ゲストサービス、⑤基礎英会話Ⅰ、⑥衛生、感染症の基礎的な知識、消毒や感染予防措置、⑦簡単な調理(卵を使った朝食作り)

中級コース(介護部門、3か月)

高齢者介護のための知識、技術や心理・コミュニケーション習得のための、①高齢者介護概論、②高齢者・障害者体験、③高齢者・障害者への理解と接し方、④身体介助、⑤食事介助、⑥高齢者の栄養、⑦清潔介助、⑧応急処置、⑨責任感とリスク回避、⑩基礎英会話Ⅱ、⑪衛生、感染症対策(Ⅱ)、⑫インターンシップ(ラオス国立リハビリテーションセンター、ビエンチャン特別市内の病院、等を予定)、⑬リクリエーション活動など。

研修の講師はラオスの5つ星ホテルラオ・プラザホテルのベテラン元従業員を軸として、そのホテルのベテランサービスマン、出入りクリーニング業者、タイから一時帰国中の介護士資格取得者とする。国境措置が緩和されれば1年次に指導を受けたタイ人介護専門家の招聘

	を第3期中期研修で行い、介護研修の中間評価と必要に応じてカリキュラムの改訂を行う。 初級コース修了生は、基本的に中級コースへ進級するものとするが、成績、素行、本人の希望等で初級コースのみで終了する際には、終了証をその時点で授与する。 ホスピタリティ/介護組み合わせの意義 ①高齢や障害などの有無にかかわらず参加できる「ユニバーサルツーリズム」の有用性が、国連世界観光期間（UNWTO）などによる意識調査の結果から示されている。「ユニバーサルツーリズム」の観点から、今後高齢の旅行者や滞在者が増加し、介護の技能を持つホテル人材の需要が増加すると考えられるため、両分野の技術習得により就職先が広がると考えられる。 ②初級のホスピタリティ基礎技能（ベッドメイキングや食事作りなど）は、中級の複雑な介護技能の訓練に活用できる。 ノン・フォーマル教育資格者の養成 VED 及び NXT 職員から選抜した 1～2 名及び第一期訓練生から 1～2 名を選抜し、ノン・フォーマル教育の資格者養成研修を受講させる。 第1期生の訓練では NXT 職員 2 名が担当し、うち 1 名がノン・フォーマル教育の有資格者だったが 2020 年 10 月に退職し、現在は他の研修の有資格者名で研修を実施している。このため第3、4、5期の研修を安定的に行うために自前の有資格者を養成する。養成はラオス教育省 Non Formal Education Development Center（通称 km8）で行うが、人数に関わらず 1 グループ 1 回当たりの料金設定となっており、NXT センターに講師を招聘し（Training of Trainer：TOT）研修を第2回のH/C初級研修と並行して実施。有資格者の確保と支援終了後の継続性の維持を図る。 3－3 訓練修了生の就職・就業支援とモニタリング 当会ネットワーク構築担当者が、VED、NXT とラオスの各業界とのネットワークを構築し、就職・就業先を開拓する。 第2、3期ともコース修了前（3ヶ月目）に進路面談を行い、中級コース進級の意思を確認する。進級しない訓練生については就職・就業支援を実施する。 第2、3期中級コース中程で就職面談、終盤では就職面談・支援を行い、就業・促進する。 第2、3期の面談は、当会プロジェクトオフィサー主導で、NXT コーディネーターが補佐を務める。 第1,2期初級・中級コース修了生の就業・就職状況についてのモニタリングは、コース終了3ヶ月後に同会プロジェクトオフィサーと NXT コーディネーターとトレーナーが共同で電話などにより実施する。 ラオス南部のパクセーでホテルを経営する者からインターンの受け入れ内諾などがあり、そのほかのホテルとも卒後のインターンを経てからの就職に繋がるような交渉を行っている。
--	---

	4. 訓練スケジュール表・指導書の作成 第1、2、3期訓練コース実施を通して、研修講師、NXT トレーナーらが共同で、「訓練スケジュール表・指導書」の作成を行い、3 年次中頃までに、最終ドラフトを完成させる。														
	裨益人口(事業実施期間・3 年間) 直接裨益人口約65名 トレーナー養成コースおよびTOT 修了生約8名(NXT 職員4名および予備トレーナー2(訓練生より選定)) 初級・中級コース訓練修了者45名(上記の予備トレーナー候補の職業訓練生2名は、これには含まれない) 間接裨益人口:訓練修了者の家族約400～422名。														
(6) 期待される成果と成果を測る指標	【3 年次】 <u>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施</u> <u>3-1 訓練生募集 (第3 期生)</u> <u>3-2 初級・中級コース訓練実施 (第2、3 期生)</u> 成果: SNS 告知板やカウンターパートナーである VED を通して、以下の県および郡の教育スポーツ省を通して、ルアンプラバーン県、シェンクワン県、チャンパーサク県、ビエンチャン特別市および県から訓練生募集を行う。NXT トレーナー2名、NXT コーディネーターと当会のプロジェクトマネージャーが協力して、15名の訓練生を選考する。第3期生の募集開始は2021年6月。 第3 期生の各県の募集人数 <table><tr><td></td><td>ルアン プラバーン県</td><td>シェン クワン県</td><td>チャン バサク県</td><td>ビエンチャン 特別市</td><td>ビエンチャン 県</td><td>計</td></tr><tr><td>第3 期生</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>15 名</td></tr></table> 訓練を通じて、訓練生がホスピタリティ・介護分野での就労に必要な基礎的な技術・知識を習得する。 指標: 修了テストで合格基準60%に達した10名以上の訓練修了生が育成される。 指標確認方法: 第2、3期修了者名簿、訓練修了証及び成績表。初級・中級コース終盤に修了テスト実施し、60%以上を合格とする。 この60%以上の根拠を以下に記す。 教師への研修を行う NGO 関係者の話によると、教育スポーツ省との会合で課題になっているのはラオスにおける生徒の評価方法は現在のテスト点数評価から、「生徒の学びに対する姿勢への評価」へと変		ルアン プラバーン県	シェン クワン県	チャン バサク県	ビエンチャン 特別市	ビエンチャン 県	計	第3 期生	3	3	3	3	3	15 名
	ルアン プラバーン県	シェン クワン県	チャン バサク県	ビエンチャン 特別市	ビエンチャン 県	計									
第3 期生	3	3	3	3	3	15 名									

	わりつつあるという。本会でも、パートナーである VED との話し合いでも同じことが話し合われた。とはいえ、客観的な数値を設置することも必要であり、ラオスのノンフォーマル教育での合格点は 60% を合格の基準に置いていることから本数値を設置した。本事業のようなノンフォーマル教育では、生徒たちが技術を習得したかどうかに重きを置いており、もしできなければ、補習という形でできるまで何回も指導することになっている。 <u>3－3 訓練修了生の就職・就業支援とモニタリング</u> <u>成果：</u> 訓練修了生の就職・就業が促進する。 <u>指標：</u> 初級・中級コース修了生の 65% 以上が就業・就職する。 <u>指標確認法：</u> 訓練修了後のモニタリング結果 この 65% 以上の根拠を以下に記す。 本会が、今まで行ってきた理美容・縫製・調理・木工の起業・就業率は 70～80% である。これらの卒生徒の多くは雇用されるのではなく、自宅などで起業しており、そのためにこのような数字であったと分析されている。一方で、今回の事業の卒業生の多くは「雇われる」ことになると思われる。そのために、65% という以前の事業より低めの数字を設定している。 本会はこの分野では未経験のために、Laos Hotel Restaurant 協会などとの協力体制をとり雇用確保の努力をしている。 <u>4. 訓練スケジュール表・指導書</u> <u>成果：</u> 『訓練スケジュール表・指導書』が制作される。 <u>指標：</u> 各項目の履修内容と到達度が明確な『訓練スケジュール表・指導書』ドラフトが完成する。 <u>指標確認方法：</u> 『訓練スケジュール表・指導書』ドラフト
--	--

(7) 持続発展性	1. 施設建設・設備整備 事業実施運営および事業終了後の訓練施設・設備のハンドオーバー等について、カウンターパートである VED 及び NXT と協議し、覚書 (Memorandum of Understanding, MOU) を 3 年次が始まった直後に締結する。 2. 職業訓練トレーナーの養成 NXT にホスピタリティ・介護トレーナーが 2 名養成され、NXT コーディネーターとともに、事業終了後も継続して訓練コースを実施・運営する。また、上記 2 名が諸事情でトレーナーを辞退せざるを得ない場合や今後訓練を拡大することも考え、NXT 職員および訓練生より予備トレーナーを養成する。 3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施 各県の教育スポーツ局への訓練生募集の体制を確立するとともに、事業実施を通してラオス全国に訓練センターの存在を周知させることで、事業終了後も安定した訓練生数を確保できるようにする。訓練センター及び訓練コースは、NXT コーディネーターにより運営され、NXT トレーナーが実際の訓練生指導を実施する。 研修は訓練センターでの講義と実習を中心に行う。現時点では新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からホテルやゲストハウスは外部からの実習、インターンの受け入れを原則停止しているが、2021 年度 9 月から開始予定の第 3 期研修ではインターン研修を実施する。 4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成 作成された訓練スケジュール表・指導者及び施設管理マニュアルは、事業終了後は NXT コーディネーターが管理する。訓練スケジュールと指導書に沿って NXT トレーナーが訓練センターを実施する。施設管理マニュアルをもとに、持続的な施設管理運営を可能にする。また上記覚書 (MOU) には訓練の継続と訓練スケジュール表・指導書及び施設管理マニュアルの管理とともに、訓練の継続についても記載する。 5. 修了生の就労活動支援 ラオスホテルレストラン協会など修了生のインターンシップおよび就労先斡旋に関する話し合いを行う。 6. 訓練センター及び訓練コース運営費の申請 本事業では訓練生より授業料は徴収せず、N 連に 3 年間の訓練実施費用を計上している。事業終了後の訓練センター及び訓練コースの持続運営のために、3 年次中頃 (2021 年 8 月末) までに予算申請書 (訓練センター・訓練コース管理運営費など) を作成、提出する。現在、訓練用に使われている 2 階のゲストルームは、NXT や IV-JAPAN への訪問者等を宿泊客として受け入れ、その収益も訓練運営費に充てる。※ (注) ラオスでは職業訓練実施に係るラオス政府への予算申請が可能であり、当会の先行事業において実績がある。
------------------	--